

無代かき鉄コーティング湛水直播栽培の特徴

【1 成果の概要】

- (1) 無代かき湛水直播栽培では、乾田直播に準じてほ場準備（整地・均平・鎮圧など）を行います。あらかじめ入水するため、播種作業が雨などの影響を受けにくい特徴があります。代かきを行う方式に比べ、用水が来る前に圃場を準備できるので、春作業の分散と省力化が可能です（図1）。
- (2) 無代かき方式では種子が土中に埋没しにくく、苗立ち率が高い特徴があります（図2）。
- (3) 苗立ち後の生育は、代かきを行う方式に比べ緩慢で、同じ施肥条件では減収する傾向があります。無代かき方式の収量確保には、シグモイド型緩効性肥料を配合した乾田直播用の「直播専用 211号」（LP-N100%, LP30:LPS30:LPS60=3:2:5）の利用が有効です。「どんぴしゃり」の場合、施肥N成分10~12kg/10a（代かきをする場合の+2~4kg/10a；概ね乾田直播と同水準）が必要です。

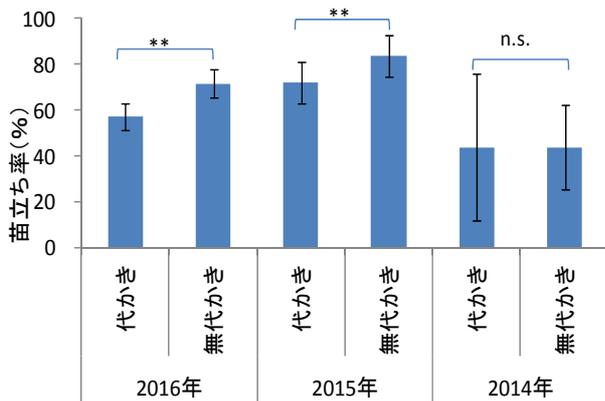
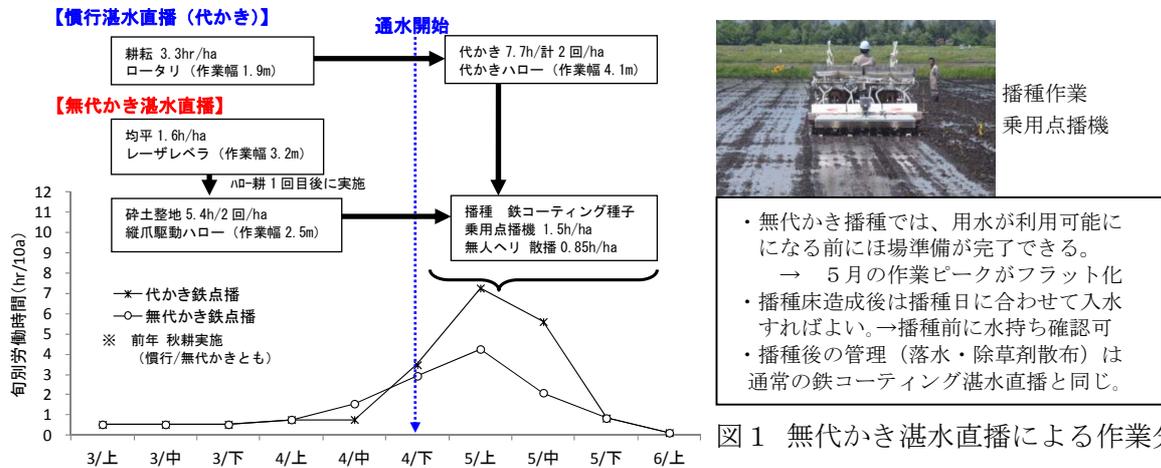


図2 苗立ち率の比較（代かき／無代かき）
 品種「どんぴしゃり」**：P<0.01（t検定）

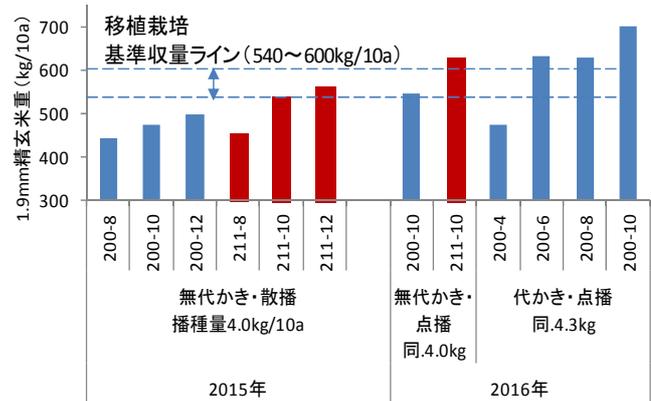


図3 施肥条件別の収量（2015~2016 北上）
 N；施肥チッソ量（「直播用 200」，基肥一発施用）

【2 留意事項】

- (1) 実施条件は乾田直播に準じ、極端な漏水田、砂質・礫質土壌の水田は避けて下さい。
- (2) 均平なほ場はレバを省略し、他の鎮圧方法（クローラ、パッカ類）も利用することも可能です。
- (3) 播種時にフロートが稲わら等を引きずらないよう、残渣を十分に鋤込みし、また、作業機の高さ設定に留意して下さい。
- (4) 播種床の表土が硬すぎると生育・収量が極端に落ちる場合があります。